

学期	【地理的分野】	ねらい	評価規準 ①＝知識・技能 ②＝思考, 判断, 表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度	評価方法
1	第1部 世界と日本の地域構成 1章 世界の姿(6時間)	地球表面のようすを地球儀や世界地図を活用してとらえさせ、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけさせる。地球儀や世界地図を活用し、世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成をとらえ、大まかな世界地図を描けるようにする。	①世界の六大陸三大洋を捉えるとともに、主な国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特徴を理解している。また、緯度と経度を使って世界の地点を示すことができるとともに、世界のおおまかな略地図をポイントをふまえてかいたり、統計資料を活用したりすることができる。 ②国名や国旗、国境線の特徴などから、これらはさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。 ③既得の知識をもとに世界の主な国をあげるとともに、地図や地球儀に親しみ、さらに世界のおおまかな地域構成について興味・関心をもって捉えようとする。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
	1 私たちの住む地球を眺めて 2 世界のいろいろな国々の特徴 3 緯度と経度 4 地球儀と世界地図の違い			
	2章 日本の姿(5時間) 1 世界のなかでの日本の位置 2 日本と世界各地との時差 3 日本の領域とその特徴 4 都道府県と都道府県庁所在地	地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。	①世界の中で日本の位置、日本の領域の広がりとその現状・課題、日本の地域構成やさまざまな地域区分について理解している。また、日本の位置を示す様々な方法や日本と各地との日本の略地図を描く方法を身に付けている。 ②地球表面上における時差の存在、世界の中で日本の位置や広がり、日本国内のさまざまな地域区分の指標について、多面的・多角的に考察・判断し、その過程や結果を適切に表現することができる。 ③世界の中で日本の位置や広がり、日本国内の地域構成や地域区分に関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を意欲的に追究しようとする。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
2	第2部 世界の様々な地域 1章 人々の生活と環境(9時間)	世界各地における人々の生活のようすとその変容について、自然及び社会的条件と関連付け考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	①世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身に付けている。また、世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。 ②世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすとその変容をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に判断することができる。 ③世界各地の人々の生活と環境の多様性に対して関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
	1 世界のさまざまな生活と環境 2 暑い地域の暮らし 3 乾燥した地域の暮らし 4 温暖な地域の暮らし 5 寒い地域の暮らし 6 高地の暮らし 7 人々の生活と宗教の関わり			
	2章 世界の諸地域(32時間) 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州	世界の諸地域について、各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとにした主題を設定してそれぞれの州の地域的特色を理解させる。	①各州の大観的な学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。また、地球儀、地図帳、映像資料などから地理的事象を読み取ることができる。 ②各州の地域的特色を明確にする主題を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。 ③生徒の生活や関心と結びつく地理的事象を取りあげ、各州の地域的特色を明らかにする主題を追究する学習に、意欲的に取り組もうとする。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
3				
	【歴史的分野】	ねらい	評価規準 ①＝知識・技能 ②＝思考, 判断, 表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度	評価方法
1	1章 歴史のとらえ方(6時間) 1 私たちと歴史 2 身近な地域の歴史を調べよう	歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。 中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めさせる。	①時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代のあらわし方や時代区分について理解している。また、日本の歴史の大きな流れや各時代の特徴に関する様々な資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。 ②日本の歴史の大きな流れや時代の特徴を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対する関心を高め、意欲的に学習している。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
	第2章 原始・古代の日本と世界(17時間) 1 人類の出現と文明のおこり 2 日本の成り立ちと倭の王権 3 大帝国の出現と律令国家の形成 4 貴族社会の発展	日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解させる。 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きくとらえさせる。	①日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。また、古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについて、様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ②古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界の古代文明や宗教のおこりに関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。また、現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
	第3章 中世の日本と世界(13時間) 1 武家政治の始まり 2 ユーラシアの動きと武家政治の変化 3 結びつく民衆と下剋上の社会	武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展していったという大きな時代の流れをとらえさせる。武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、事例を取り上げながら現在に結びつくものに関心をもたせる。	①武士が台頭し、武士の支配が次第に全国に広まり、武士政権が発展したことを理解できている。中世の新しい文化や仏教の特色を理解している。また、鎌倉時代を中心とした武士や民衆の動き、文化に関する様々な資料の活用ができている。 ②武家社会が発展していったという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などから、多面的多角的に考察している。 ③武家政権が成立したことや、武士や民衆の動きに対する関心を高め、意欲的に学習している。	・ワークシートの内容 ・グループ活動の状況 ・小テスト ・定期考査
2				